

講義名	経営戦略論B		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	青木 良三		
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 3時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科/2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース/2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース/2018年度 人間社会学部 観光学科/		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>本講義の主題は、経営戦略論を学習するものにとって当然知っておくべき基本的知識を解説することにあります。理論のみならずケースも紹介しますので、実際のビジネス界の出来事も学習できる内容になっています。</li> <li>本講義では、経営戦略論のうち企業（会社）戦略について解説します。</li> <li>なお、事業（競争）戦略と機能別戦略については、経営戦略論Aで行います。</li> <li>本講義のレベルは、入門書レベルに一部中級レベルの話が加わります。経営戦略論Aよりは講義内容はむずかしいと思います。</li> </ul>			

到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>①学生は、本講義を受講することによって、経営戦略に関する理論を理解できるようになります。</li> <li>②学生は、それらの理論を使って、企業経営を分析できるようになります。</li> </ul>			

提出課題			
<ul style="list-style-type: none"> <li>提出課題は、ありません。最近コピペしたレポートが多いためです。</li> <li>レポートの提出は、任意とします。</li> </ul>			

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック			
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の発言にコメントします。</li> </ul>			

評価の基準			
<ul style="list-style-type: none"> <li>期末試験の結果で評価します。</li> <li>ただし、授業中に発言すると、1回1点で評価します。ただし、加点は、最大30点までとします。双方向の授業を行いたいので、授業中の発言を歓迎します。</li> <li>レポートは、義務ではありませんが、コピペでない優れた内容のレポートは、成績評価の際考慮します。</li> </ul>			

履修にあたっての注意・助言他			
<ul style="list-style-type: none"> <li>期末試験は、授業中に話したことや板書した事柄、授業中に配布した資料から出題します。授業の欠席が多いと、試験で得点するのがむずかしくなるので気を付けてください。</li> <li>私語等により他の受講生の迷惑をかける学生には退室を命じます。その指示に従わない場合には、減点します。</li> </ul>			

教科書	
<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書は使用しません。</li> </ul>	

プリント資料及び参考文献	
<ul style="list-style-type: none"> <li>経営学検定試験公式テキスト2『マネジメント』経営学検定試験協議会監修、経営能力開発センター編集、中央経済社 2015年2月</li> <li>RYUKA Portal から資料をダウンロードできます。</li> </ul>	

授業計画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>経営戦略の体系</li> <li>経営理念、ビジョン、ミッション</li> <li>ケーススタディ パナソニック、ソニー、ホンダ</li> <li>事業の定義と企業ドメイン</li> <li>ケーススタディ 富士フィルム</li> <li>アンソフの製品-市場マトリックス</li> <li>ケーススタディ プリチストンの市場開発戦略</li> <li>ケーススタディ キヤノンの多角化戦略</li> <li>M&amp;A戦略</li> <li>グローバル戦略</li> <li>ケーススタディ コカ・コーラ、P&amp;G</li> <li>経営戦略の策定プロセス</li> <li>外部環境分析（機会と脅威の発見）と内部環境分析（強みと弱みの認知）</li> <li>SWOT分析</li> <li>ケーススタディ ファーストリテイリング</li> </ol>	

授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア	PBL（課題解決型学習）
イ	反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ	ディスカッション、ディベート
エ	グループワーク
オ	プレゼンテーション
カ	実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間	
<ul style="list-style-type: none"> <li>予習について、テキストはありませんが、参考文献やシラバスに記載した企業に関する雑誌記事、新聞記事を読んでおいてください。</li> <li>復習は、配布した資料を読んで、出てくる経営学の用語の意味をしっかりと理解し、使えるまで学習してください。</li> <li>予習に1時間、復習に1時間が目安になります。</li> </ul>	

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中に質問しますから、学生は積極的に発言してください。</li> </ul>	

実務経験の有無及び活用	

備考	